

## <様式1>

# 令和3年度 さいたま市立城北中学校 自己評価書

校長 遠藤敏恵 印

## 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

本校の学校教育目標は「思いやりのある生徒・真剣に学ぶ生徒・健康な生徒」である。本年度の指導の重点を学校経営方針「自律・進取・友愛の気概溢れる我が学び舎“チーム城北”の創造」のもと、

- (1) 生徒一人ひとりの実態を理解し、工夫を生かした適切な支援ができる学校
- (2) 生徒があたりまえの事をあたりまえにできる学校
- (3) きれいな学校

の3点に置き、組織的に教育活動を推進してきた。

## 2 評価結果について

重点項目(1)「学校の適切な支援」については、「授業は楽しく分かりやすいか」に、肯定的に回答した生徒は90%となり、3年続けて増加した。理由として「よい授業」アンケート結果のフィードバックをもとに、教員が授業力の向上に取り組んでいること、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備に伴い、ICT機器の効果的な活用が推進されていることなどが考えられる。「教師が生徒の悩みや相談に親身になって応じているか」に肯定的に回答した生徒は、94%で、昨年同様高い値を示した。これは、学期に2回実施される「心と生活のアンケート」「あなたに関するアンケート」の結果分析から、必要に応じて速やかに面談を実施し丁寧に取り扱っていることや、担任との「やりとり帳(生活記録ノート)」に綴られる、日々の出来事や悩みへのコメント記入の継続など、組織的に個々の生徒理解に努めてきたことによるものと分析する。

重点項目(2)「生活規律」については、「正しい言葉や態度で学校生活を過ごしているか」に肯定的に回答した生徒は93%、「社会のマナーを守り登下校できているか」に肯定的に回答した生徒は97%となった。これは、生徒指導が組織的に推進されていることや、学校生活の中で、教員が生徒に、人として望ましい姿を手本として示していることなどが理由として考えられる。

重点項目(3)「きれいな学校」については、「美しい環境づくりを意識して行動できているか」に肯定的に回答した生徒が92%、「学校は、安心・安全な生活環境を提供しているか」に肯定的に回答した保護者も91%とここ数年で最も高い数値を示した。清掃指導の徹底や生徒専門委員会の活動による日々の校内美化と、市教委と連携した、プール槽の改修塗装工事、学校図書館天井の防水工事による安全で快適な環境の実現が理由として考えられる。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

(1)「家庭学習(予習・復習など)をよくやっているか」に、肯定的に回答した生徒は、昨年に引き続き、多の項目より低い56%に留まった。基礎学力の向上には、家庭などでの反復学習が不可欠である。漢字や英単語、計算問題などを繰り返し書いたり解いたりしながら身に付ける従来型の学習を日々の家庭学習にいか位置付けるかに加え、ICT機器などの有効な活用方法を探っていく必要がある。(2)「生活規律」については、生徒一人ひとりの自律と自立を目指した健全育成を図っていく。昨年から見直しが始まった、校則やきまりについては、生徒・保護者・地域・教職員の意見を取り入れ、より合理的なものへの見直しを検討する。

(3)「きれいな学校」については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで清掃活動を徹底する。修繕を要する箇所については、教室棟の天井の雨漏りや、体育施設の不具合等について、市教委に要望を挙げ対応していく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。